

金杉台中学校の御滝中学校への統合方針を撤廃することを求める陳情
(新型コロナウイルスから命を守る視点で)

[願意]

新型コロナウイルス感染から子供たちの命を守る視点から、金杉台中学校を御滝中学校に統合する教育委員会会議の方針を撤廃・変更することを求めます。

[理由]

令和2年3月5日の教育委員会会議臨時会で、令和5年4月に金杉台中学校を御滝中学校に統合するという方針が決まりました。しかし、まだ市議会本会議では議決されていないため、この方針の撤廃・変更は法的に可能です。現在の新型コロナウイルス流行によって、子供たちの命が危険にさらされているという状況を鑑みて、小規模校である金杉台中学校を廃校にする方針の撤回を求めます。

新型コロナウイルス感染のリスクを下げるために、世界中でいわゆる「三密」を避けることが求められています。金杉台中学校は1クラス20人程度の小規模校であり、通常規模校や大規模校に比べて感染リスクの小さい環境と言えます。こういったより安全な環境を廃してより感染リスクの高い環境に子供たちを送り込むのは命の危険を冒す無謀な行為と考えられます。これは命の問題であり、切磋琢磨の問題でも、部活動数の問題でもありません。

生徒たちの中には基礎疾患があり、感染すると重症化することが危惧される者もおります。こういった生徒を市内全域より募集し、より感染リスクの小さな環境でより安全に学校生活を送りたいと考える生徒や保護者の要望に応えるなど、船橋市は積極的に命を守る対策を取るべきと考えます。

以上の理由で、教育委員会会議で決定した金杉台中学校の廃校方針を見直すことを求めます。学校統廃合による予算削減効果よりも、子供たちの命を守ることを優先してください。